

登録コード	A3594315	開講年度	2026				
授業科目	専攻研究					担当教員	伊原 正喜
英文授業名							
単位数	2	講義期間	後期（随時）	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	
講義室				授業形態	演習	遠隔授業科目	備考
信大コンピテンシー 非該当							
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素					【授業の達成目標】	
	2 0 2 2 Aカリ, 2 0 2 1 Aカリ, 2 0 2 0 Aカリ, 2 0 1 9 Aカリ						
	【2022年度以前加付対象】専門的な知識や研究能力を修得している					研究活動に必要な学術情報を入手し、それらを読解し説明できるようになる．	
	【2022年度以前加付対象】地球的な広い国際的視野と同時に現実的な地域の視点に立って問題をとらえ解決する能力を修得している					研究活動に必要な学術情報を入手し、それらを読解し説明できるようになる．	
	2 0 2 6 A3 編（24A）, 2 0 2 5 A3 編（23A）, 2 0 2 4 Aカリ, 2 0 2 3 Aカリ						
	【2024年度以前加付対象】専門的な知識や研究能力を基礎としての確かな情報を収集・理解し、発信できる能力を修得している。					研究活動に必要な学術情報を入手し、それらを読解し説明できるようになる．	
	【2024年度以前加付対象】地球的な広い国際的視野と同時に現実的な地域の視点に立って様々な課題をとらえ、解決する能力を修得している。					研究活動に必要な学術情報を入手し、それらを読解し説明できるようになる．	
(2)授業で学べる「テーマ」	その他						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	英語論文を読み、理解し、内容について説明するトレーニングを行う。また、微生物培養実験、微生物単離実験、遺伝子組み換え実験、たんぱく質精製、生化学実験、分析実験などを通して、実験に関わるノウハウを習得する。						
(5)授業計画	週に数回の輪読会を実施し、輪読会の度に課題を課し、次の輪読会までに課題を解く。実験計画についてディスカッションし、理解した上で、実験を実施し、データを実験ノートにまとめる。最後の授業回に授業アンケートを実施する。						
(6)自主学習の指針	ウィークデイは、研究室に出勤し、実験の合間に、輪読会に関する課題や、実験に関する課題を解き、自主的に興味を持った論文を見つけて読む。自宅においても、同様に課題を解き、論文を読む。						
(7)成績評価の基準	読解力や、課題の提出率、出勤率、実験量の他、自発性や問題解決力、コミュニケーション力で判断する。						
(8)事前事後学習の内容	英文論文を読むなど、自主的に学習する。						
(9)テストやレポートの予定	なし						
(10)成績評価の方法	読解力の向上度や、課題の提出率、出勤率、実験量を教員が判断し、評価す。自発性や問題解決力、コミュニケーション力については、著しく低いと教員が判断した場合には、減点もしくは不可とする。						
(11)質問、相談への対応および連絡先	随時受け付ける。						
(12)履修上の注意	特別な理由なしに、10日続けて欠席した場合は不可とする。課題提出率や読解力が著しく低い場合は不可となる。						
【教科書】	なし						
【参考書】	特になし						